

今週のビルマのニュース 2011年8月26日 (1129号)
大統領がスーチー氏と会談 国連特別報告者が調査 イベント情報

【ビルマ国内・国際関係】

- ・ 民主化運動指導者アウンサンスーチー氏が19日、政府の招待で経済改革会議に出席するため首都ネーピードーを訪れた際、テインセイン大統領と初めて会談した。会談の内容の詳細は不明だが、氏は24日、「大統領は本物の改革の実現を目指していると思っている」と述べた（24日AFPほか）。会談について日本外務省は「民主化及び国民和解に資する前向きの動きとして評価する」とした（22日発表外務報道官談話）。
- ・ ビルマの人権状況に関する国連特別報告者のキンタナ氏が25日まで同国で調査を行った。氏は10年2月の国内調査後、紛争地域で人道に対する罪が起きている疑いを調べる国連調査団を設置するべきと勧告し、その後入国許可が出ていなかった。24日にはアウンサンスーチー氏と初めて会談、インセイン刑務所で政治囚とも面会。出国直前の声明で「深刻な人権問題が未解決のまま」などと述べた。（24日AFPほか）
- ・ 米政府のビルマに関する特別代表・政策調査官（大使級）に任命されたデレク・ミッチェル氏が業務を開始した。国務省によれば、早期のビルマ訪問を望んでいるとのこと。（23日米国務省）

【政府開発援助（ODA）】 新たな発表はなし。

【注目アイテム】

- ・ ビルマでの調査を終えたキンタナ国連特別報告者の声明（25日発表）。
<http://www.ohchr.org/EN/NewsEvents/Pages/DisplayNews.aspx?NewsID=11332&LangID=E>
- ・ ビルマの経済発展に関するウー・ミン氏（大統領顧問）の論文。19～20日にネーピードーで開かれ、アウンサンスーチー氏も出席した経済改革会議で発表されたもの。
<http://www.mizzima.com/research/5825-dr-myints-paper-on-economic-development-in-burma.html>
- ・ 26日アジア・タイムズ記事”Man with the plan in Myanmar”。テインセイン大統領の事実上のスピーチライター、ネーウィンマウン氏について。http://www.atimes.com/atimes/Southeast_Asia/MH26Ae01.html
- ・ ジョシュア・カーランジック”Myanmar: The Next Failed State?”（外交問題評議会（CFR）9月号）。難民流出の可能性、国境地域での大規模な紛争、核開発疑惑などを抱えるビルマ。米国などが取るべき政策は？
<http://www.cfr.org/burmamyanmar/myanmar-next-failed-state/p25710>
- ・ アウンサンスーチー氏がイラワディ川ダム開発に懸念を表明（23日メコン河開発メールニュース）。
http://www.mekongwatch.org/resource/news/20110823_01.html

【イベント情報】（〔 〕内は主催者。共催等は省略）

- ・ [アムネスティ岐阜グループ] ドキュメンタリー『ピュア希望の鐘』上映・ココラット氏講演会（岐阜・ハートフルスクエアG生涯学習センター中研修室、27日13時半～15時半、開場13時15分）
- ・ [在日ビルマ難民たすけあいの会（BRSA）] 夏のBRSAセミナー 講演：熊澤新氏（アムネスティ・インターナショナル）、熊切拓氏（南大塚地域文化創造館第1会議室、28日17時半～21時半）
- ・ [国民民主連盟（解放地域）日本支部 <http://www7b.biglobe.ne.jp/~htunktt>] ディペイン虐殺事件から99ヶ月一軍事政権に国民和解のための対話を求める抗議行動（品川・在日ビルマ大使館前、30日15～16時）
- ・ [ビルマ市民フォーラム] 第65回例会「第三国定住から一年」講演：マウンミョーミンスウェ氏、ソーバラテイン氏（カレン民族機構副議長）他（池袋・生活産業プラザ8階多目的ホール、9月10日18時～）
- ・ [アムネスティ水戸グループ] アムネスティ・インターナショナル創立50周年記念「悲しみと涙の川エヤーワディー」上映とティッ・ター監督夫妻のトーク（ハングルアカデミー水戸本校、10月16日13時半～）

もっと詳しい情報・お問い合わせは
ビルマ情報ネットワーク <http://www.burmainfo.org>